

第3章 保健医療及び福祉に係るサービスの提供（脳卒中）

個別目標【個別施策及び事業の実施結果】

※【各資源の充実度】を表す基盤（ストラクチャー）指標：S 【医療の質】を表す過程（プロセス）指標：P 【サービス提供の結果】を表す成果（アウトカム）指標：O として記載。

個別施策名	施策アウトプット指標	現状値	目標値
○循環器病啓発事業（仮）			
	チラシの配布数（仮）		
○救命救急センター運営事業			
	○○○○		
○搬送困難事例受入医療機関支援事業			
	○○○○		

個別施策名	施策アウトプット指標	現状値	目標値
○○○○○ 等			

個別施策名	施策アウトプット指標	現状値	目標値
○○○○○ 等			

個別施策名	施策アウトプット指標	現状値	目標値
医療と介護で作る地域連携推進事業			
	地域生活連携推進会議実施件数		
	県民啓発事業実施件数		
○○○○○ 等			

中間目標【取組の方向性】

○【急性期・搬送】脳卒中発症後、速やかに適切な医療機関に救急搬送することができる。

目標とする状態	指標	現状値	目標値
○発症～搬送にあたり速やかに救急搬送することができる。			
	P：FASTの認知割合 （発症から救急要請までの時間の短縮）		
	P：脳血管疾患に係る救急活動時間 （出場～医師引継）		
○重症患者の搬送先が明確化されている。			
	P：脳梗塞患者の圏域外救急搬送割合		
	P：重症脳卒中患者における受入れ医療機関決定までの受入照会回数 が○回以上の割合		

○【急性期・治療】県内全医療圏で搬送後に速やかに治療が可能な体制が構築されている。

目標とする状態	指標	現状値	目標値
○専門的な医療を24時間提供する体制が整備されている。			
	S：脳神経外科医数		
	S：神経内科医数		
	S：循環器内科医数		
	S：リハビリテーション科医数		
○速やかに専門的な治療が可能で、質の高い医療が提供されている			
	P：血栓回収療法の実施件数		
	P：くも膜下出血に対する脳動脈瘤クリッピング術の実施件数		
○県内全医療圏で質の高い医療が提供されている。			
	S：血栓回収が可能な医療機関数が○箇所以上存在している医療圏数		

○【回復期・リハビリ】急性期の治療後に患者の状況により患者が望む適切な治療（リハビリ）を受ける体制が構築されている。

目標とする状態	指標	現状値	目標値
○県内全医療圏で質の高いリハビリが提供されている。			
	S：各医療圏別の回復期リハビリテーション病床数（人口10万人対）		
	P：日常生活機能評価が3点以上回復している割合（重傷者とするべき?）		
	S：脳卒中患者に対するリハビリテーションの実施件数		

○【生活期・リハビリ、再発予防、生活の質の向上】生活期に切れ目のない医療・介護が提供されている。

目標とする状態	指標	現状値	目標値
○在宅等における生活期に切れ目のない医療・介護が提供されている。			
	S：入退院支援を実施している診療所数・病院数		
	P：脳卒中の診療を行う病院における地域医療連携バス（脳卒中）導入率		
○地域リハビリテーション支援体制が整備されている。			
	例：高次脳機能障害支援普及事業支援拠点機関		
	例：総合リハビリテーション支援センターにおける相談数		

最終目標【千葉県の目指す姿】

○脳卒中による死亡が減少している。

目標とする状態	指標	現状値	目標値
○脳卒中による年齢調整死亡率を減少する。			
	O：脳血管疾患患者の年齢調整死亡率（男性）		
	O：脳血管疾患患者の年齢調整死亡率（女性）		
○健康寿命を延伸する。			
	O：健康寿命（男性）		
	O：健康寿命（女性）		

○脳卒中を発症後も健やかに地域で暮らせる。

目標とする状態	指標	現状値	目標値
○脳卒中を発症したとしても、発症前に近い状態まで身体機能が回復する。			
	A：脳卒中患者の90日後mRS（0～3）の割合 （※90日後を把握できない患者は退院時mRS）		
○脳卒中を発症後も患者が住み慣れた場所で希望する生活を送ることができる。			
	A：在宅等の生活の場に復帰した脳血管疾患患者の割合		